

令和 6 年度第 2 回子育て文化審議会における意見への対応

No.	発言概要	対 応
1	賃金上昇のための正規雇用化に向けたリスクリングの充実などの面も就労支援に含めて記載したらいいのではないか。	第 4 章「Ⅰ 結婚の希望を叶えるための支援」の「3 若者の安定した雇用に向けた支援」に、リスクリング支援に関する記述を追加しました。 (プラン最終案 P17)
2	遊ぶところなどが無いというまちづくりの部分や、公共交通機関が無いとどこにも行けないという交通インフラの部分、人口減少などの部分も盛り込んでおくべきではないか。	第 4 章「Ⅶ 子どもと子育てにやさしい社会づくり」の「4 (2) 子ども・子育てに配慮したまちづくり」へ記載しており、より広範・詳細な内容については、上位計画であるやまぐち未来新プランをはじめ、各分野別計画や各種方針等でお示すべきものと考えています。 (プラン最終案 P54)
3	子どもたちへのアンケートから得られた声への対応について、声に則して考えてほしい。	授業がわかりやすくなるように授業改善を行うことについて、記載を加えました。 また、授業において ICT 機器を活用する際は、児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた個別学習と併せて、発表や話し合い等の協働学習にも取り組んでおり、ICT 活用事例の周知等を通じて「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた取組を推進します。 (子どもたちへのアンケート結果から得られた声への対応 (抜粋))
4	フォーラムを開催するなど、アンケート結果を県民にも知っていただき、子どもたちがきちんと声を持っていることやその声に応えていく責任が大人にあることを広く周知できるといい。	プラン策定の経緯やアンケート結果等を基に、子どもや子育て当事者と対話する場を設け、子どもの声やその声に大人が答えていくことの大切さについて広げていきます。
5	担い手の確保・資質向上に保健師、栄養士及び児童指導員を加えてほしい。	第 4 章「Ⅴ 安心して子どもを生み育てるために必要な担い手の確保・資質向上」の「2 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員の確保・資質向上」に新たに管理栄養士・栄養士を追加しました。 なお、保健師は看護職員に含まれており、児童指導員は記載済みです。 (プラン最終案 P44～P46)

No.	発言概要	対 応
6	子ども食堂が食べるためだけのものではなく、様々な学びや遊びを通して子どもたちが体得するものが増える場所にしてほしい。	第4章「Ⅲ 安心して子育てできる環境づくり」の「6 (1) 子どもの居場所の確保」への記載のとおり、地域の様々な資源を活用し、すべての子どもが、食事の提供を通じて様々な学びや多様な体験活動の機会に接しながら、安全に安心して過ごせる「こども食堂」の取組を全県に展開します。 (プラン最終案 P35)
7	7つの柱からなる取組推進のイメージ図を整理してほしい。	イメージ図の縦軸には、子ども・子育ての当事者に近い内容から配置しています。7番目の柱である「子どもと子育てにやさしい社会づくり」は、すべての取組の土台となる部分であり、その意味でも矢印の位置を一番下に配置しています。 また、イメージ図の横軸は、子育て期までのライフステージを示しています。子どもと子育てにやさしい社会づくりを土台にしながら、切れ目ない支援に取り組むことで、社会全体で子育てを応援し、子育て文化の創造に繋いでいきます。 (プラン最終案 P12)
8	アンケートを分析し、子ども版ができれば子どもと子育てしている人に伝わるのではないかと。アンケートの取扱いで、「ここに参考にさせてもらったよ」というようなことがわかるような返し方をしていただきたい。	プラン（やさしい版）を作成し、子どもたちへのアンケートから得られた声への対応について、子どもや子育てしている人にも分かりやすく示していきます。 (やまぐち子ども・子育て応援プラン（やさしい版）)
9	プラン策定の趣旨の部分について、少子化対策が押し出されすぎているため、子どもを大切に、社会全体で育てるという意識が浸透することで少子化対策につながるというような趣旨にしてはどうか。	プラン策定の趣旨に、本県の子どもの育ちに関する考え方等を加えました。 (プラン最終案 P1)
10	保育園や幼稚園等が指定難病の子どもを安心して受け入れることができるよう、看護師の配置など受入体制整備を支援してほしい。	県では、保育所や幼稚園を利用する園児を受け入れるために必要な看護師等の配置に対する支援を実施しており、引き続き、園児の受入体制の整備に取り組めます。

子どもたちへのアンケートから得られた声への対応（抜粋）

⑧学校教育の充実

子どもたちの声	ポイント	対応
自分のペースにあったスピードで授業を受けられる教室があるといいと思った	個性や特性に応じて学べるようにし、授業がわかりやすく楽しいものにしてほしい	一人ひとりの理解が進むように授業改善を進めるとともに、興味や関心があるテーマについて調べ発表する学習など、探究的な学習活動などを通して、楽しみながら「わかる」授業をめざしていきます。 (P28「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実」)
個々にあった学習指導があるといい		天候が悪くて登校できないときでも勉強できるよう、1人1台タブレット端末を活用し、一人ひとりの個性に合わせて学びを深める「個別最適な学び」を充実させていきます。 (P28「①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実」)
授業内でもわからないところが多くあるから少なくともわかりやすくすることで学力向上すると思う	オンライン授業を推進してほしい	
楽しく勉強ができれば良い		
タブレットのzoomの積極的な使用。天候が悪い時はわざわざ学校まで行く必要はないと思う		
大雨や災害でも勉強出来るといいと思う		